

地域力創造アドバイザー事業

1. これまでの取り組み概要

「令和7年度地域力創造アドバイザー事業」(企画政策課、人事課、自治振興課)

- ・栗東市人財育成・確保基本方針の改定に係るアドバイス
- ・研修の企画・実施(働きやすい職場づくりの実現に向けた研修)
- ・地域人材育成「地域と市役所のつながりを生み出すために」の企画・実施
- ・「つながる学習会」の企画・実施

(詳細:参考資料のとおり)

2. 令和8年度地域力創造アドバイザー事業(商工観光労政課)

■目指すこと

①職員の意識改革(人材育成)

- ・市役所と地域のつながりの創出
- ・地域活動の実践

↓

- ・実際の地域に入り、地域課題を肌感覚で感じ、解決に向けて取り組む職員の育成
(マインドの育成と継承)

②行政としての地域活性化の推進

- ・組織横断的な課題や取り組みの共有
- ・他自治体の先進事例研究と実践

↓

- ・定住人口の維持
- ・交流人口・関係人口の創出

- ・ふるさと住民登録制度などの関係人口創出に向けた制度活用検討など



2つのエリアを中心としたまちづくり活動を R8 に商工観光労政課で実施。流出人口の抑制、まちへの愛着の醸成等、観光等を切り口に、組織横断的に各課の実践的な業務にアプローチしていく。

観光＝地域に光をあてる。
市内で地域活性化へのエネルギーが高まる2つのエリア。
主に観光振興を切り口に、地域力創造アドバイザーにより、2つのエリアを中心に職員の意識改革と地域活性化の推進につなげる。

<奥こんぜエリア>

- ・奥こんぜ農泊推進協議会
- ・地域おこし協力隊

<栗東駅前エリア>

- ・夏祭り実行委員会(有志)による夏まつり
- ・JR グループによる滋賀 DC の開催



令和8年度は座学だけではなく、実践重視の姿勢で 職員の意識改革と地域活性化をより推進させる。

■内容

・栗東市での現地研修等(1泊2日×5回)

・オンライン会議や課題へのアドバイス(現地以外)

※会議は定例的な開催ではなく、状況の変化に応じて、柔軟に開催する(予算範囲内)

■主に観光を切り口にした、職員の意識改革と地域活性化のための場

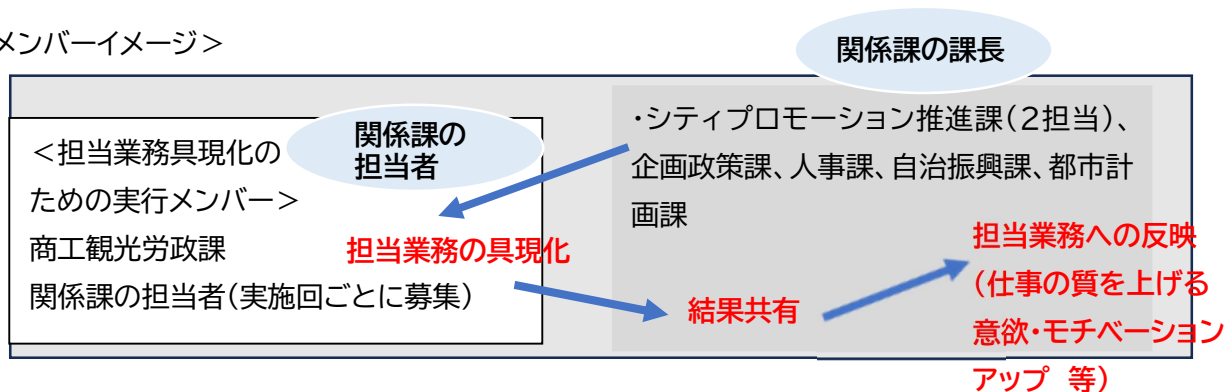
・関係課の担当業務を具現化するため、市役所内での会議開催や商工観光労政課が所管する現場やイベントでの実践の場を活用する。

現場は、奥こんぜエリア、栗東駅前エリアを想定

・メンバー：係長級前後の職階の職員

シティプロモーション推進課(2担当)、企画政策課、人事課、自治振興課、都市計画課、商工観光労政課を中心として想定

<メンバーイメージ>



・回数:5回予定

・内容…商工観光労政課の事業で展開する、奥こんぜと栗東駅前エリアをつなぐ取り組みから学習

観光を切り口に関係課の実践的な業務にアプローチする

・計画→実践→振り返り(評価、共有)

3. 今後のスケジュール(令和8年6月25日時点)

①令和8年7月13日(月)~14日(火)

任命式、奥こんぜ視察、意見交換、栗東駅前夏祭りに向けての考案

②令和8年8月23日(日)~24日(月)

栗東駅前夏祭りにて来場者ヒアリング等の実施、振り返り(評価の視点を学ぶ)

※適宜リモートで課題へのアドバイス等を実施